

所管事務調査報告書

令和3年10月27日

洞爺湖町議会議長 大西 智 様

総務常任委員会
委員長 下道 英明

本委員会は、所管事務調査のため、次のとおり委員会を開催したので、その結果を報告します。

記

○所管事務調査その1

- 1 調査事項 虻田火葬場の現況について
- 2 調査日 令和3年10月11日（月）
- 3 出席委員 下道委員長、今野副委員長、越前谷委員、大久保委員、五十嵐委員
- 4 説明員等 佐野総務部長、住民課 後藤課長、飛岡主査
- 5 調査結果

虻田火葬場は、鉄筋コンクリート造の平屋建て、面積228㎡の建物で火葬炉2基、告別室1箇所、待合室2室などが整備され、年間約100件ほどの火葬が行われている。昭和51年に建設され45年を経過しているが、業務に大きな障害が発生したことは無い。

本年において、西胆振行政事務組合が伊達市に新たな火葬場を建設し、供用を開始しているが、利便性の高い虻田火葬場の利用も多いことから、施設の維持管理や補修を計画的に行い施設の存続に取り組んでおり、本年度は火葬炉1基の修繕が実施される。なお、施設内は思ったより暗いことから、照明設備の整備も必要と思われる。今後も、住民が継続して利用できるよう適切な管理に努めていただきたい。

○所管事務調査その2

- 1 調査事項 伊達火葬場について
- 2 調査日 令和3年10月11日（月）
- 3 出席委員 下道委員長、今野副委員長、越前谷委員、大久保委員、五十嵐委員
- 4 説明員等 伊達市経済環境部環境衛生課 齋藤課長、中村係長

佐野総務部長、住民課 後藤課長、飛岡主査

5 調査結果

伊達火葬場は、胆振西部1市3町（伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町）で構成する西胆振行政事務組合が主体となり整備され、令和3年2月に完成し4月から供用開始している。

本施設は、火葬炉3基、告別室2室、待合室3室、キッズスペースや授乳室などを備えた延床面積1,310㎡の建物で、乗用車20台、大型バス3台が利用できる駐車場が整備されている。

本年9月末までの利用件数は、全体で315件（うち洞爺湖町民利用49件）となっており、寺院を利用するの葬儀が減少し葬儀場を利用するケースが増加している。

現在は新型コロナウイルス感染症対策として、建物の入口や館内の各所に手指消毒液が設置されているとともに、注意喚起の掲示物を設置、待合室ごとの仕切りなども設置されている。施設内の各部屋は上手く配置がなされ、利便性を考慮した造りとなっている。

○所管事務調査その3

- 1 調査事項 アイヌ民族共生拠点施設「ウトウラノ」について
- 2 調査日 令和3年10月11日（月）
- 3 出席委員 下道委員長、今野副委員長、越前谷委員、大久保委員、五十嵐委員
- 4 説明員等 佐野総務部長、健康福祉課 高橋課長、平間主幹
- 5 調査結果

アイヌ民族共生拠点施設「ウトウラノ」は、伝統的な儀式を屋内で行うことができるスペースを有しており、その設備を視察するとともに、具体的な対応等について、担当課から説明を受けた。

当町では、毎年9月に歴史公園の先住民族慰霊碑の前で囲炉裏を囲み祈りを捧げる先住民族慰霊祭「イチャルパ」が行われているが、それを屋内にて行うことができるよう囲炉裏が施設内に整備されている。その対応として、排煙設備が設置されるなどの対策が図られ、問題なく使用できる構造となっているようであるが、外での火越しなど、少量とは言え火を使用することから、取り扱いには十分注意するとともに、囲炉裏周辺の防火対策もしっかり行っていただきたい。今後も、施設の安全と保全、セキュリティ対策にしっかりと取り組みながら、活発な利用が促進されるよう努めていただきたい。